

授業科目名[英語名]						
アメリカのベンチャー文化[American Venture Culture]						
担当教員名[連絡先(TEL,研究室など)]						
ジェイ・スミス[099-285-3751]						
E-Mail	jay@eng.kagoshima-u.ac.jp		受講対象	全		
課程区分	共通教育	学科/科目・分野等	教養 1 分野	開講期	前期木曜 4	単位等 2
共同担当教員名						
なし						
教育目標のキーワード						
視野・判断力・探求能力 /						
学習目標(学生の達成 目標)						
1) アメリカのベンチャー文化の特徴を挙げることができる。 2) ベンチャービジネスが経済や社会、ドラッカーの理論が果たす役割について理解する。 3) 自分の将来に企業を仮説し、事業計画を立案し、それについて議論し、アイデアを出すことができる。						
授業概要(目的・内容・方法)						
アメリカにおいてはベンチャービジネスが大企業へと成長し、経済の発展に大きな役割を果たしている。このようなベンチャービジネスを育むアメリカのベンチャー文化についてドラッカーの理論を取り上げる。企業家としての精神・活動・思考様式などを学んでいく。また、自由にアイデアを自分が起業したことを仮定して事業計画に具体化する。学生自身が起業について自由に考えていく事を授業目的とすることから、討論、発表を重視した授業方法を展開していく。						
授業計画(15回に分けて、回数、日付、授業内容、授業外活動など)						
企業家とベンチャービジネスへの導入 企業家精神の論 - ドラッカーの理論を中心に - 機会とイノベーション - ドラッカーの理論を中心に - イノベーションの論 - ドラッカーの理論を中心に - 業界分析と戦略の基本 - 事例紹介と学生の質問 - アメリカの開拓者の精神 - アメリカの企業家精神 - 事例紹介と学生の質問 - 開拓時代のアメリカ実業家たち - 事例紹介と学生の質問 - シリコンバレーとベンチャー精神 - 事例紹介 インテルケーススタディ - ドラッカーの理論を中心に - 企業家管理 企業家の会社の競争戦略 - ドラッカーの理論を中心に - プロセスイノベーションケーススタディ - 事例紹介と学生質問 - 新製品の考えの作成の方法 - 学生発表と討論 - ベンチャー投資家精神 - 学生発表と討論 - ~ の復習とまとめ						
受講要件	企業の経営に関心をもっていること					
評価基準および方法	出席 25 %、質疑応答 25 %、レポートの結果 50 % で評価する。					
教科書	P.F. ドラッカー 「イノベーションと企業家精神」出版社: ダイヤモンド社、 ケーススタディ		参考書	Guy Kawasaki 「The Art Of The Start: The Time-Tested, Battle-Hardened Guide For Anyone Starting Anything 」 出版社: Portfolio (2004)		
授業時間外対応(オフィスアワー、授業後、学習シートなど)	【オフィスアワー】毎週木曜日午前中【メール】【授業後】		その他			